

11/19 未読

文通費問題「正確な報道を

国会議員に月額100万円支給される文通費（文書通信交通滞在費）の問題で、18日の朝日系「羽鳥慎一モーニングショー」は日本大学大学院講師の岩井幸信氏らをゲストに特集しました。

岩井氏は、このなかで、日割りで支給できるようにする法改正の動きについて、「抜本的な見直しを求められている」「あり方そのものを根本的に変えていかないといけない」と指摘、「このままでは日割のだけになってしまふ」と、これを機に声をあげる必要性を強調しました。

一方で岩井氏は、「改革」について維新は言ってきたが、「ほかの野党は知らぬ存ぜぬ」だったと、事実でもと

共産党は一貫して抜本的見直し主張

つかない発言をしました。日本共産党については、以前から文通費の抜本的見直しを提案しており、1993年に「滞在費」の各目を加え、月額75万円から100万円に増額した際には、「都内在住の国会議員にも滞在費を一律に支給するのは不合理であり、国民の理解を得られない」と反対しました。それ以来、議院運営委員会で毎年度の国会予算の審議の際に、文通費の問題を指摘し、それを含む国会予算に反対してきました。

番組内で岩井氏も「政党助成金が出たから必要ない」とのべたように、国会議員・政党にかかわる税金の最大の無駄遣いである政党助成金にメスを入れることが求められています。

(藤沢忠明)